



2020年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年10月14日

上場会社名 ティアンドエス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4055 URL <https://www.tecsvc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 武川 義浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員業務本部長 (氏名) 木下 洋 TEL 045-263-8286
 四半期報告書提出予定日 2020年10月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第3四半期の業績 (2019年12月1日～2020年8月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第3四半期	1,652	—	215	—	216	—	148	—
2019年11月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第3四半期	93.25	85.22
2019年11月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2019年11月期第3四半期においては四半期財務諸表を作成していないため、2019年11月期第3四半期の数値及び2020年11月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 2020年8月7日付で東京証券取引所マザーズに上場したため、2020年11月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新規上場日から2020年11月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 2020年4月14日付で普通株式1株につき1,100株の割合で株式分割を行っております。2020年11月期期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第3四半期	1,271	1,042	81.9
2019年11月期	817	455	55.7

(参考) 自己資本 2020年11月期第3四半期 1,041百万円 2019年11月期 455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年11月期	—	0.00	—	—	—
2020年11月期 (予想)	—	—	—	13.00	13.00

- (注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 配当予想の修正については、本日 (2020年10月14日) 公表致しました「配当政策の基本方針変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年11月期の業績予想（2019年12月1日～2020年11月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,435	6.0	300	11.4	300	11.3	232	26.2	141.37

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 2020年11月期（予想）の1株当たり当期純利益は、2020年9月3日で払込が完了したオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分（30,000株）を考慮して算出しております。
 3. 2020年4月14日付で普通株式1株につき1,100株の割合で株式分割を行っております。業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、株式分割後の発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期3Q	1,750,700株	2019年11月期	1,580,700株
② 期末自己株式数	2020年11月期3Q	－株	2019年11月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年11月期3Q	1,596,773株	2019年11月期3Q	－株

（注）2020年4月14日付で普通株式1株につき1,100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、企業収益の大幅な減少が続いている状況であります。感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、在宅勤務やオンラインミーティングの活用等、新しい形態での事業推進が拡大しており、ITの重要性の高まりとともに業務のIT化の流れが加速しております。当社では当第3四半期累計期間において新型コロナウイルス感染症の直接的な影響による派遣契約の打ち切りや請負契約の案件取消は発生しておりません。しかしながら、対面での営業活動が制限されるなどの影響により案件開始時期の遅れが発生しており、新型コロナウイルス感染症による影響には、引き続き注意する必要がある状況であります。

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントですが、事業の構成をソリューション、半導体、先進技術ソリューションの3カテゴリ構造とし事業展開しております。上記のような経済環境のなか「ソリューションカテゴリ」では産業領域に特化せずIT人材の供給を継続し、IT開発を支える事業の拡大を図ってまいりました。「半導体カテゴリ」では工場内システムの保守及び運用サービスや、ITヘルプデスク等半導体工場のITインフラストラクチャー運用支援全般の事業の拡大を図ってまいりました。「先進技術ソリューションカテゴリ」ではAI市場に特化した戦略を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高1,652,086千円、営業利益215,823千円、経常利益216,061千円、四半期純利益148,905千円となりました。

当第3四半期累計期間におけるカテゴリ毎の経営成績は次のとおりであります。

①ソリューションカテゴリ

当第3四半期累計期間の売上高は、1,321,136千円となりました。

主要得意先からの受注が順調に推移したことに加え、新規の受注が寄与しました。

②半導体カテゴリ

当第3四半期累計期間の売上高は、259,851千円となりました。

主要得意先からの受注が順調だったことに加え、エンジニアの単価改訂による売上増加が寄与しました。

③先進技術ソリューションカテゴリ

当第3四半期累計期間の売上高は、71,099千円となりました。

既存得意先からの継続受注が順調に推移し、AI関連案件の受注が増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,205,883千円となり、前事業年度末に比べ478,325千円増加致しました。これは主に株式上場に伴う公募増資を実施したこと等により現金及び預金が500,736千円増加したこと、及び未収入金が17,011千円減少したことによるものであります。固定資産は65,756千円となり、前事業年度末に比べ23,694千円減少致しました。これは主に冬季賞与の支給に伴い繰延税金資産が24,168千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,271,640千円となり、前事業年度末に比べ454,631千円増加致しました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は183,305千円となり、前事業年度末に比べ135,074千円減少致しました。これは主に税金の支払に伴い未払法人税等が53,104千円、冬季賞与の支給に伴い未払費用が27,075千円、賞与引当金が24,225千円、預り金が10,626千円、未払金が10,101千円減少したことによるものであります。固定負債は46,265千円となり、前事業年度末に比べ2,771千円増加致しました。これは退職給付引当金が2,771千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は229,571千円となり、前事業年度末に比べ132,303千円減少致しました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,042,068千円となり、前事業年度末に比べ586,934千円増加致しました。これは主に株式上場に伴う公募増資を実施したことにより資本金が218,960千円、資本準備金が218,960千円増加したこと、四半期純利益の計上により利益剰余金が148,905千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月期の業績予想につきましては、2020年8月7日の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表致しました通期の業績予想に変更ありません。

当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年11月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	323,177	823,914
売掛金	235,444	231,895
仕掛品	7,845	13,675
未収入金	146,312	129,301
その他	15,777	7,998
貸倒引当金	△1,000	△900
流動資産合計	727,557	1,205,883
固定資産		
有形固定資産	20,007	18,087
無形固定資産	1,104	1,293
投資その他の資産	68,338	46,375
固定資産合計	89,450	65,756
資産合計	817,008	1,271,640
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,824	56,627
未払法人税等	64,900	11,796
賞与引当金	45,109	20,884
その他	146,544	93,997
流動負債合計	318,379	183,305
固定負債		
退職給付引当金	35,423	38,194
その他	8,071	8,071
固定負債合計	43,494	46,265
負債合計	361,874	229,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	74,120	293,080
資本剰余金	25,450	244,410
利益剰余金	355,563	504,469
株主資本合計	455,133	1,041,959
新株予約権	—	108
純資産合計	455,133	1,042,068
負債純資産合計	817,008	1,271,640

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
売上高	1,652,086
売上原価	1,153,694
売上総利益	498,391
販売費及び一般管理費	282,568
営業利益	215,823
営業外収益	
受取利息	1
補助金収入	3,000
その他	22
営業外収益合計	3,024
営業外費用	
株式交付費	2,785
その他	0
営業外費用合計	2,785
経常利益	216,061
税引前四半期純利益	216,061
法人税、住民税及び事業税	42,987
法人税等調整額	24,168
法人税等合計	67,155
四半期純利益	148,905

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年8月7日に東京証券取引所マザーズ市場に上場致しました。上場にあたり、2020年8月6日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行を行ったことに伴い、普通株式が170,000株増加しております。この結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ218,960千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が293,080千円、資本剰余金が244,410千円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間（自 2019年12月1日 至 2020年8月31日）

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。